

なし

248. 飛騨山脈北部での氷河・万年雪の観測

目的: 立山, 劔岳, 鹿島槍ヶ岳の5つの雪溪で氷厚と流動の観測を実施して, 氷河の可能性を探る.

調査地域: 立山 (御前沢雪溪, 内蔵助雪溪), 劔岳 (三ノ窓雪溪, 小窓雪溪), 鹿島槍ヶ岳 (カクネ里雪溪).

メンバー: 福井幸太郎・飯田 肇 (立山カルデラ砂防博物館)

期 間: 2012 年 6 月~10 月

調査内容: 立山, 劔岳, 鹿島槍ヶ岳の5つの雪溪でアイスレーダを使った氷厚観測と高精度GPSを使った流動観測を実施する予定である.

問い合わせ先:

立山カルデラ砂防博物館 福井幸太郎

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂 68

Tel: 076-481-1363

E-mail: fukui@tatecal.or.jp

現地カウンターパート:

なし

(2012 年 3 月 16 日受付)

『第 22 回雪崩対策の基礎技術研修会』 開催報告

2012 年 1 月 26 日 (木) から 27 日 (金) に, 新潟県湯沢町にて第 22 回雪崩対策の基礎技術研修会が開催されました. 雪崩分科会はこの研修会に協力して講師派遣を行いました. 研修会は雪崩事故災害防止のため (社)日本雪氷学会が主催して, 行政や民間の関係者等を募り, 雪崩事故対策の基礎技術についての研修を行うものです. 今回の参加者は 34 名で, 行政関係者, 建設関係コンサルタント, 高速道路関係者, 山岳関係者, 電力会社等からの参加がありました. 講師は 9 名で実施しました.

研修では, 1 日目と 2 日目ともに, 午前中に室内の講義を行い, 午後に野外での実習や雪崩対策施設の見学を行いました. 室内講義は湯沢カルチャーセンターで, 野外実習はカルチャーセンター内の敷地で行いました. また, 対策施設の見学は湯沢から三国峠に至る国道 17 号線の山岳道路に設置されている設備の見学を行いました. 開催日が大雪と重なりましたが, トラブルなく進みました. 講義は, 「降積雪と雪崩の基礎知識」「積雪観測法」「雪崩危険斜面の判定・雪崩管理の実態」「雪崩予測」「雪崩対策の調査・計画・設計」で基礎から応用までの多岐に及ぶ内容となりました.



図 1 雪崩対策の調査の室内講義

た. また, 野外実習では, 「積雪観測法実習」に加えて, 雪崩埋雪者の捜索救助「雪崩捜索・救助法実習」をビーコンやゾンデ棒を使用して行い, さらに現地研修では「雪崩対策工の現地検討」として, 雪崩対策施設や法面点検車の見学を行い, 充実した研修となりました.

参加者のアンケートを見ると, 開催時期, 内容ともに適当で満足したとの感想が見られた一方, 受講料が高いという意見も多く見られました. また, 参加者名簿や講義のスライド資料を配布して



図 2 雪崩対策工の現地研修

ほしい等の意見があり、今後の雪崩研修会開催に向けて検討する必要があると感じました。

(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター

平島寛行)

(2012 年 3 月 30 日受付)